

第1回NSC課題研究研修会

化学部門・工学部門 出場報告

- ◇期 日:令和6年10月5日(土)
- ◇会 場:信州大学工学部
- ◇参加者:SS化学部員7名
- ◇引 率:SS化学部顧問 浮田直美先生



私たちSS化学部員は、第1回NSC(長野サイエンスコンソーシアム)課題研究研修会に参加しました。この研修会には、北信越のSSH指定校の生徒が集まり、日ごろの研究の成果を発表しました。

ポスターセッションの前には、屋代高等学校の山本博章先生から「審査員目線での良い研究」という講義を受け、ポスター発表時に相手に伝えたいことを伝える方法や、大切にすべきことなど、今後の発表に活かせることをたくさん教えていただき、とても有意義な時間となりました。

次に、アイスブレイクとしてパスタタワーの高さ競争を行いました。屋代高校の生徒が中心となって活動を進め、各高校から無作為に選ばれた初対面の仲間とともに各チームが協力してパスタタワーを製作し、とても楽しい時間となりました。本校生徒の一人は富山、大町、屋代の混合チームの一員として97cmのタワーを作り上げて、優勝しました。



ポスターセッションでは、私たちは「媒晶剤のカルボキシ基の電離で形が変化するNaCl型結晶」、「カナメモチの真っ赤な新葉の色素を用いた色素増感太陽電池」の2つの発表を行いました。信州大学の先生方や、多くの高校生との質疑応答を通して、さらに研究を深めるためのアイデアを数多くいただき、実りのある発表となりました。ほかの高校の研究も非常に興味深いものが多く、発表を聞いたり質問したりすることで深い知見を得ることができました。また私たちの研究は、それぞれアカデミック化学賞、アカデミック工学賞を受賞しました。

発表にあたり、今回の大会運営をしてくださった関係者の方々、支えてくださった皆様に感謝申し上げます。